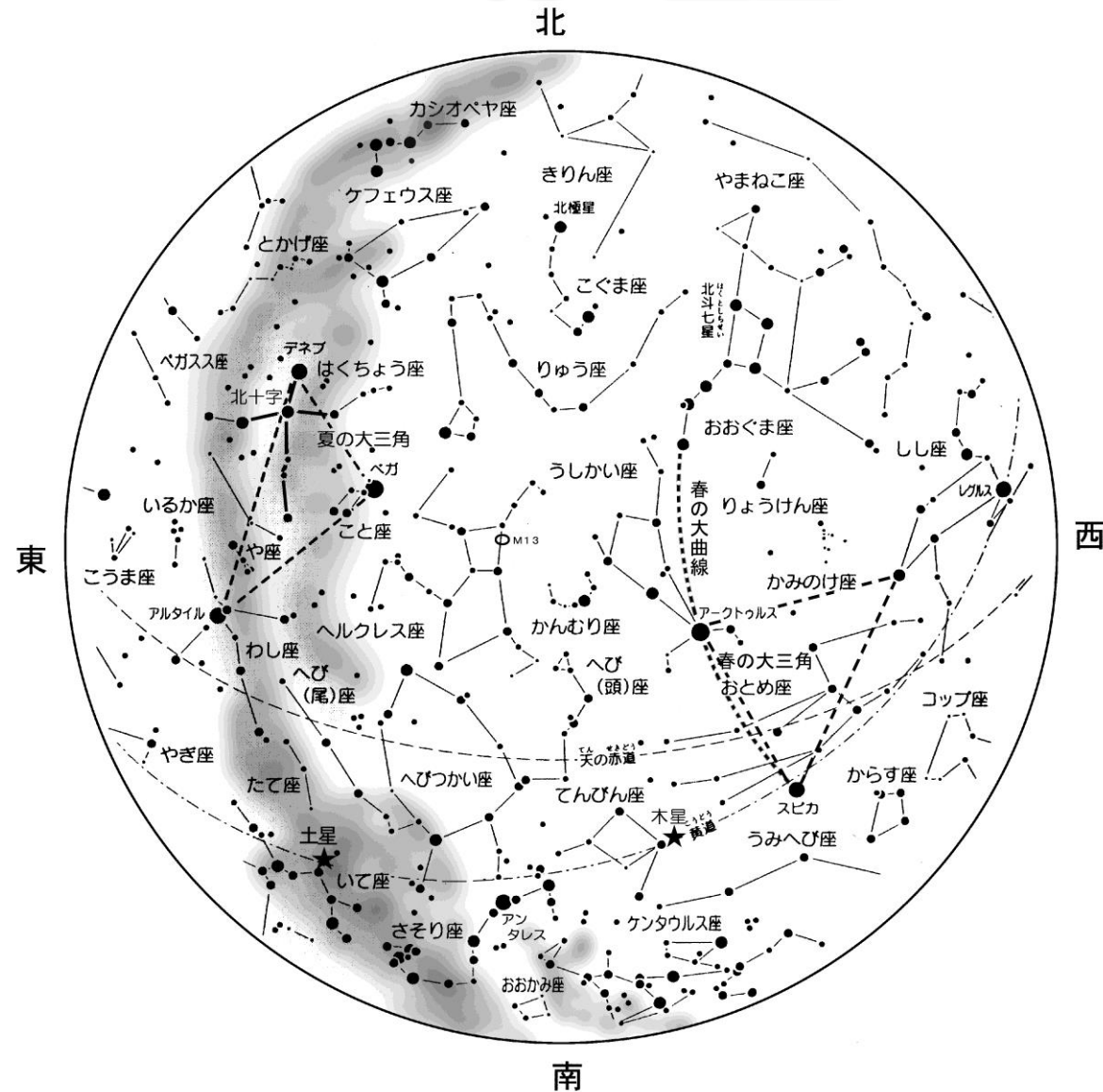


平成30年 8月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～

★8月の星空案内

夏の星座探しは、ちょうど頭の真上あたりに、ひときわ白く輝く星から始まります。この星が、七夕の話に登場する“織り姫星”、こと座の1等星ベガです。そして、天の川をはさんで反対側、ベガからやや南東で輝く星が“彦星”、わし座の1等星アルタイルです。ベガから北東に目を移すと、はくちょう座の1等星デネブが輝いています。このデネブ、ベガ、アルタイルを結んでできる三角形を、“夏の大三角”と言います。また、南の空低いところに、「アルファベットのSの字」のような星の並びがあります。ここにはさそり座があります。サソリの心臓の部分で赤く輝いている星は、1等星アンタレスです。アンタレスには火星の敵という意味があり、7月31日に地球に大接近した火星と、その赤さを競って輝いています。さらにさそり座の東側、土星のすぐそばにある6つの星でできる「ひしゃく」の星の並びは南斗六星です。南斗六星を含む星座は、いて座です。このいて座付近が天の川が最も明るく見える部分です。天の川は、星の集まりです。街明かりのない所で、ほんやりと見える天の川の観察に挑戦してみたいはいかがでしょうか。



< 現在見える惑星 >

水星 (2.1 等前後): しし座→かに座付近	観測に適さない。
金星 (-4.3 等前後): おとめ座付近	日の入り後、西の空でひときわ明るく輝く。
火星 (-2.4 等前後): やぎ座付近	21時頃、南南東の空で明るく輝く。
木星 (-2.0 等前後): てんびん座付近	21時頃、南西の空で明るく輝く。
土星 (0.3 等前後): いて座付近	21時頃、南の空で輝く。

注目の天文現象 ～大集合した惑星と、惑星に次々と近づく月を見よう！～

今月は金星、木星、土星、火星が宵の空に大集合します。これら4つの惑星が同時に見えるのはなかなか珍しいことです。西の地平線近くには-4.3等の金星がひときわ明るく輝いています。金星から左に目線を移すと南西の空では木星、南の空では土星を見つけることができます。さらに南東の空には、7月31日に地球に大接近した火星が、赤く明るく輝いています。日の入り後、一番明るい金星が輝き始め、空が暗くなるにつれて他の惑星も少しずつ見え始めます。日の入り後1時間を過ぎると金星の高度が低くなるため、4つの惑星を一緒に見るのは難しくなります。14日に金星と並んで見えた月は、日に日にその形を膨らませながら、惑星の間を渡り歩くかのように移動していくので、月をたよりに惑星を探すのも良いかもしれません。

夏の夜は、大集合した惑星と月で賑やかな星空を楽しんではいかがでしょうか。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
5	日	☾ 下弦 (03:18)	13	月	ペルセウス座流星群が極大 (10時頃)
7	火	立秋 (22:31)	17	金	旧七夕
11	土	● 新月 (17:02) 「グリーンランドから北欧、シベリア方面で部分日食、日本からは見られない」	18	土	☾ 上弦 (16:49)
			31	日	☉ 満月 (20:56)